

特別支援教室の便利

6月号

杉並区立高井戸第四小学校

特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

特別支援教室の指導が始まり一か月半がたちました。新しい環境にチャレンジすることは子供たちの成長にとっても大切なことではありますが、慣れるのは大変に感じることもあります。お子様の頑張っていることをたくさん認めていきたいと思います。日々の成長の様子、保護者の方の願いや今後のことについて考えながら指導していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

7月の予定

1学期の指導終了日

月曜日グループ…7月17日(木)

水曜日グループ…7月16日(水)

金曜日グループ…7月11日(金)

火曜日グループ…7月15日(火)

木曜日グループ…7月10日(木)



特別支援教室の学習形態について

特別支援教室の指導形態には、小集団学習(みんなの時間)と個別学習(じぶんの時間)があります。特別支援教室では、子供の特性に応じて個別学習と小集団学習を適宜組み合わせて行っています。教育効果が高められるように、教材の準備や授業展開を工夫・改善しています。子供の興味を引き出し、活動を通じて達成感を感じられる授業作りに努めています。

個別学習(じぶんの時間)は、個々の子供の特性に応じて課題設定や教材の準備が可能です。そのため、子供との関係性を築きやすく、心理的な安定も図りやすくなります。また、子供のその日の状態に合わせて、指導内容や方法を臨機応変に対応できます。短時間で達成できる課題や取り組みやすい課題から始めますので、児童が達成感を味わうことができます。

個別学習の実践例

- ・ソーシャルスキルトレーニング、アンガーマネジメント
- ・制作活動(ビーズ制作、プラバン制作など)
- ・粗大運動(バランスボール、ドッジボール、サッカー、バスケットボール、卓球など)
- ・読み書き、読書、国語(コグトレ、きくきくドリルなど)
- ・ビジョントレーニング



小集団学習(みんなの時間)は、子供同士の関わりから人間関係や対人関係を学ぶことができます。集団のルールや決まりなどを設定して、それを守る経験を積むことができます。共同制作などを取り入れて、子供同士で話し合ったり手本を示したりすることができます。また、異年齢で集団を編成することで、リーダーシップを発揮したり、責任感を育てたりすることもできます。

小集団学習の実践例

- ・連想クイズをしよう
- ・友達ビンゴをしよう
- ・オリジナルのトートバックを作ろう
- ・モザイクタイルアートを作ろう
- ・友達と協力する運動をしよう
- ・風船バレーをしよう
- ・書を楽しもう
- ・様々な仕事に出会おう





◎小集団学習「みんなの時間」

「ジェスチャーゲーム」

- ・相手の意見を受け入れ、上手に話し合いができるようになる。
- ・チームの中で相談したり協力したりする。
- ・細かい動きまで考えられるようになる。

「制作活動（迷路作り）」

- ・仕上がりイメージして、制作活動に取り組む。
- ・木工用ボンドを使って、材料を丁寧に貼り付ける。
- ・完成させた作品を友達と見せ合い、お互いの作品の良さを見付ける。

「ラッキーコインゲーム」

- ・相手の話をしっかり聞き、聞いた情報を基に動くことができる。
- ・落ち着いて思いを伝え、行動することができる。
- ・ルールを守って、楽しく活動することができる。

「よく見て考えて動く活動・体幹を鍛える運動」

- ・体の軸を意識して活動する。
- ・周囲の状況を見て確認して動く。
- ・ルールを守って楽しく活動する。